

## 24 職業教育の充実 (高等学校)

－ 社会を支え産業の発展を担う職業人の育成 －

8 働きがいも  
経済成長も



科学技術の進展、グローバル化、産業構造の変化に伴い、必要とされる専門的な知識・技術も変化するとともに高度化しているため、これらへの対応が、さらに必要である。また、世の中の様々な情報や情報技術を適切かつ効果的に活用できる人材、多種多様な情報を活用しながら他者と協働した新たな価値の創造に挑んでいく人材、世の中の様々な変化に積極的に向き合いグローバルな視点から他者と協働して課題を解決できる人材を育成することが重要であり、地域や関係機関、産業界等との連携のもと、実践的な学習活動をより一層充実させていく必要がある。

### ここがポイント(取組の重点)

- グローバル化及び専門的な知識・技術の高度化への対応が課題
- 「人」・「台端末」を活用した授業改善が必要
- ◇地域や関係機関、産業界等との連携を推進
- ◇専門高校におけるキャリア教育の視点での授業改善を推進

### (1) 次代を担う人材の育成を図る

- ① 職業に関する各教科の「見方・考え方」を働かせた実践的・体験的な学習活動を通して、社会を支え産業の発展を担う**職業人として必要な資質・能力を育成**する。
- ② 各職業分野について(社会的意義や役割を含め)体系的・系統的に理解させるとともに、関連する技術を習得させる。
- ③ 各職業分野に関する課題(持続可能な社会の構築、グローバル化・少子高齢化への対応等)を発見し、**職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する力を育成**する。
- ④ 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、**産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を育成**する。

### (2) 指導方法の改善・充実を図る

- ① 各教科・科目については、**実験・実習に配当する授業時数を十分確保**する。
- ② 生徒の実態を考慮し、職業に関する各教科・科目の履修を容易にするため特別な配慮が必要な場合には、**基礎的・基本的な事項が確実に身に付くように取り扱い、主として実験・実習によって指導**するなど工夫する。
- ③ 地域や学校の実態を考慮するとともに、地域課題解決に向け、積極的に**地域や産業界等との連携**を図る。
- ④ 各教科における学習活動において、「人」・「台端末」を活用した**授業改善**を図り、情報活用能力を育成する。
- ⑤ 産業教育・職業教育での望ましい勤労観・職業観、社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力を育成するため、**専門高校におけるキャリア教育の視点での授業改善**を推進する。

### (3) 指導と評価の一体化を図る

- ① 各教科・科目等について相互の連携を図り、**体系的、系統的な指導**ができるようにする。
- ② 各教科・科目の指導に当たっては、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度等に応じた弾力的な学級の編制など**指導方法や指導体制を工夫改善**し、個に応じた指導の充実を図る。
- ③ 各教科・科目の指導内容については、各指導項目のまとめ方及び重点の置き方に留意し、**生徒の実態を考慮した効果的な指導計画を立てる**ようにする。
- ④ 主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図る、「指導と評価の一体化」の実現に向け、評価に際しては、知識や技術のみの評定に偏ることがないよう、「**知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度**」の3つの観点による評価が行えるよう、評価方法の工夫改善を行う。

#### ■関連資料■

◎『高等学校学習指導要領解説 総則編』

文部科学省 平成30年